

令和4年度予算総額

(単位:千円、%)

	4年度 予算額	3年度 予算額	伸び率
一般会計	77,444,000	※70,326,110	10.1
特別会計			
国民健康保険事業	17,790,000	16,876,000	5.4
後期高齢者医療	4,839,000	4,569,000	5.9
介護保険事業	15,043,000	14,720,000	2.2
下水道事業会計			
収益的収入	4,307,712	4,303,819	0.1
収益的支出	3,864,827	3,845,279	0.5
資本的収入	1,710,019	891,157	91.9
資本的支出	2,694,375	1,735,203	55.3

※令和3年度一般会計予算額は、当初予算額686億7,000万円に補正予算(第4号)までの16億5,611万円を加えた額

令和4年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月8日から10日までの3日間、特別会計及び下水道事業会計は3月11日に審査が行われました。定例会最終日には、鈴木洋一一般会計予算特別委員長と佐藤徹特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計を賛成多数で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。

市長の提案説明の概要は以下のとおりです。
〔一般会計〕
予算総額は77億4千4百万円で、前年度の補正予算第4号いわゆる肉付け後予算に比べ増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

〔後期高齢者医療特別会計〕
予算総額は48億3千9百万円で、前年度比5・9%、2億7千万円の増となっています。
〔歳入〕保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。

〔歳出〕広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費等を計上しています。後期高齢者医療の被保険者数は、前年度比600人増の2万4千8百人を見込んでいます。

〔介護保険事業特別会計〕
予算総額は50億4千3百万円で前年度比2・2%、3億2千3百万円の増となっています。
〔歳入〕保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、繰入金等計上しています。

〔歳出〕保険給付費を前年度比2・3%、約3億9百34万円増を見込んでいます。また、地域支援事業費は前年度比0・1%、約69万円増となっています。要支援要介護認定者数は、前年度比4・5%増の1万151人を見込んでいます。

〔下水道事業会計〕
〔収益的収入及び支出〕
収入は43億7千71万2千円で、前年度比0・1%、3百89万3千円の増です。
支出は38億6千4百82万7千円で、前年度比0・5%、1千9百54万8千円の増です。
〔資本的収入及び支出〕
収入は17億1千1万9千円で、前年度比91・9%、8億1千8百86万2千円の増です。
支出は26億9千4百37万5千円で、前年度比55・3%、9億5千9百17万2千円の増です。

〔国民健康保険事業〕
収入は17億1千1万9千円で、前年度比91・9%、8億1千8百86万2千円の増です。
支出は26億9千4百37万5千円で、前年度比55・3%、9億5千9百17万2千円の増です。

〔後期高齢者医療〕
収入は4,839,000円で、前年度比5.9%、270,000円の増です。
支出は4,569,000円で、前年度比5.9%、270,000円の増です。

〔介護保険事業〕
収入は15,043,000円で、前年度比2.2%、223,000円の増です。
支出は14,720,000円で、前年度比2.2%、303,000円の増です。

〔下水道事業会計〕
〔収益的収入及び支出〕
収入は4,307,712円で、前年度比0.1%、3,819円の増です。
支出は3,864,827円で、前年度比0.5%、147,808円の増です。

〔資本的収入及び支出〕
収入は1,710,019円で、前年度比91.9%、818,862円の増です。
支出は2,694,375円で、前年度比55.3%、963,157円の増です。

〔一般会計〕
収入は77,444,000円で、前年度比10.1%、7,117,890円の増です。
支出は77,444,000円で、前年度比10.1%、7,117,890円の増です。

市議会公明党 賛成

会派として要望し続けた事業が一定程度計上されている

①マイナンバーカードの交付推進施策は積極姿勢を感じた。②ゼロカーボンシティ宣言は会派で要望したもので評価する。③耐震化への改修補助等は市民に寄り添った対応と評価する。④ファーストバースデーサポート事業は子どもの貧困対策として効果的であり高く評価する。⑤新型コロナウイルスワクチン3回目接種
⑥児童発達支援センターの運営開始などは市の特色となる。⑦ゼロカーボンシティ宣言は評価するが、呼びかけだけにせず宣言を実行するよう求める。⑧公立児童クラブにおける宅配弁当の実施を検討すべきと考える。なお、鉄道立体化は機運醸成のための努力を求める。GIGAスクール構想は、個別最適化の教育の早期実現を求める。

政和会 反対

自主財源確保やDX関連の取組が不足している点などを指摘

①ふるさと納税で市の歳入が失われる現状を放置する姿勢は怠慢である。②経常収支比率97・5%で弾力性がない。③DX関連予算が前年度より少ない。④東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金を子どものためではなく指導者用デジタル教科書導入に充てたことは基金の目的と矛盾する。⑤花小金井武

一般会計予算に対する 各会派の討論(要旨)

①自宅療養者等への食料品等の支援などは評価するが、市内でのPCR検査体制拡充等を要望する。②オンライン学習費の新規追加等を評価するが、ICT支援員補充を要望する。③認可保育園3園の整備は評価するが、さらなる待機児童解消を求める。④ゼロカーボンシティ宣言を大きく評価するが、容器包装プラスチック無料化の検討を前倒しで行うことを要望する。⑤性的少数者等交流会実施を評価する。⑥広島市への生徒派遣など平和事業を評価し、今後の充実を要望する。なお、教職員の乳がん検診等は復活を強く要望する。駅前再開整備等は、開発優先の方向性で進むことに強い懸念を抱いている。公立保育園の廃園方針等は少人数学級実現に逆行する。

まちづくり市民こだいら 反対

市債を増やし、土木費偏重の予算になっている

①小平駅北口地区再開発は、権利者の3分の2の同意が得られない段階で都市計画決定を進める姿勢は容認できない。②鷹の台駅前広場整備は、市民の意見を取り入れられまちづくりへの転換が求められる。③鎌倉公園整備事業は、農業を継続しようとしている農地を取り上げ農業公園にすることは疑問である。④学校給食センターの

一人会派の会 反対

硬直化、水膨れした予算となっており、先行きが不安である

①予算と市債が膨らみ、経常収支比率は97・5%と悪化している。②小平駅北口地区再開発事業は、地権者の3分の2の賛成が得られないまま進めることは問題である。③地域センター19館及び地区公民館10館の複合化等はアナウンスが不十分である。④男女共同参画センターのスペースは、中央エリアに造られる複合施設に確保するよう求める。更新事業は、PFI方式が適切だったかなどについての検証が求められる。なお、性的少数者等交流会事業は回数増加を期待する。ファーストバースデーサポート事業は不安を抱える子育て家庭への助けになる。農業振興費の大幅増を評価する。水路整備事業に期待する。教育ではオンライン学習環境の整備等がありがたく思う。

生活者ネットワーク 賛成

子どもや市民の暮らしを見据えた予算編成と評価する

認可保育園3園の開設や性的少数者電話相談等を評価する。なお、①いきいき協働事業が市民版環境配慮指針作成だけでは参加と協働が大きく後退している。②男女共同参画都市宣言は評価するが男女共同参画をどう進めたいのか見えない。③HPVワクチンの積極的勧奨再開は副反応被害拡大を懸念する。④認可保育園3園開設は評価するが、保育のガイドライン策定を求める。⑤自閉症・情緒障害特別支援学級の設置はインクルーシブ教育の視点での検討を求める。⑥デジタル改革関連法公布に伴う実施は国との連携を求める。⑦学校給食センター更新事業など投資的経費がかさんでいる。⑧今後の公民館の在り方は市民に諮る必要がある。⑨緑の創出等を求める。

日本共産党小平市議団 賛成

新型コロナウイルス感染症対策、保育園待機児童対策などを評価

①自宅療養者等への食料品等の支援などは評価するが、市内でのPCR検査体制拡充等を要望する。②オンライン学習費の新規追加等を評価するが、ICT支援員補充を要望する。③認可保育園3園の整備は評価するが、さらなる待機児童解消を求める。④ゼロカーボンシティ宣言を大きく評価するが、容器包装プラスチック無料化の検討を前倒しで行うことを要望する。⑤性的少数者等交流会実施を評価する。⑥広島市への生徒派遣など平和事業を評価し、今後の充実を要望する。なお、教職員の乳がん検診等は復活を強く要望する。駅前再開整備等は、開発優先の方向性で進むことに強い懸念を抱いている。公立保育園の廃園方針等は少人数学級実現に逆行する。

※1 用語の説明については7面をご覧ください。